

令和6年度社会福祉法人指導連絡会

# 災害時の避難の考え方と 災害への各自の備えの重要性

令和6年8月7日  
福祉管理課

## **1 福祉部における要配慮者対策の概要**

- ・避難行動要支援者名簿の活用と個別避難計画の作成**
- ・高齢者、障がい者向け「風水害時のマイ・タイムライン講習会」の開催**

## **2 災害時の避難の考え方と災害への各自の備えの重要性**

- ・災害ごとの避難の考え方**
- ・大田区の防災ハザードマップ**
- ・各学校における備蓄、バリアフリーの対応状況**
- ・災害への各自での備えの重要性**

# 1 福祉部における要配慮者対策の概要

大田区民(約73万人)

## ※1 避難行動要支援者

- 要介護3～5の65歳以上の方
- 視覚障がい1、2級
- 聴覚障がい2、3級の方
- 移動機能障がい1～4級の方
- 下肢障がい又は体幹機能障がい1～3級の方
- 愛の手帳1～4度の方
- 65歳以上のひとり暮らしで避難行動に支援が必要な方
- その他避難行動に支援が必要な者(精神障がい、難病患者等を含む)

## ※2 水害時ハイリスク者

台風等の予測が可能な災害が発生した際に、区が対策を講じないと生命の危険が生じる可能性がある要配慮者(高齢者・障がい者)

要配慮者(高齢者・障がい者・乳幼児・外国人等)

高齢者・障がい者(約19万人)

避難行動要支援者※1  
(約1万6千4百人)

施設入所者

避難確保  
計画

水害時ハイリスク者※2と思われる方

R6対象者

R5対象者

拡大

R4年度個別避難計画(区が優先的に支援する計画)対象者

マイ・タイムライン  
作成対象者

個別避難計画  
作成対象者

区が優先的に支援  
する計画対象者  
(区・福祉専門職作成)

本人・地域記入  
の計画対象者  
(本人・家族作成)

※ 個別避難計画は地震  
も想定して作成

水害時 高齢者・障がい者向け

# マイ・タイムライン講習会

水害時の  
マイ・タイムライン  
(個人の避難行動計画)  
をつくりませんか？



©大田区

「マイ・タイムライン」とは…  
台風などの水害から、自分や家族、  
支援している人を守るために、  
いつ・誰と・何をするかを  
まとめておく計画です。

## 内 容

- 大田区の水害リスクについて
- マイ・タイムラインの作成について
- 大田区の要配慮者対策について

## 講 師

一般財団法人河川情報センター職員 他



## 開催日程 (各13:30~15:30)

当事者向け(高齢の方、障がいのある方とその家族)※手話通訳、要約筆記希望受付

開催日	実施場所	定員
8月19日(月)	大田区民プラザ(展示室)	
8月22日(木)	萩中集会所(第二・三集会室)	各回
8月26日(月)	六郷地域力推進センター(六郷集会室)	40名
8月29日(木)	さぽーとセンター (障がい者総合サポートセンター多目的室)	

## 申込方法

※申込期間 6月3日から各開催日の7日前まで

問合先に参加申込書を窓口持参、  
郵送またはFAXで、提出してください。  
※インターネットやお電話でもお申し込み可

問合先 福祉管理課 ☎03-5744-1721



インターネット  
でのお申し込み  
はこちら

主催 大田区

## 2 災害時の避難の考え方と災害への各自の備えの重要性

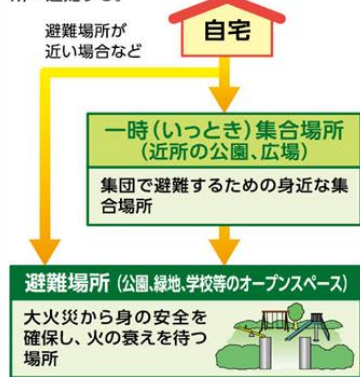
### 災害時の避難について 震災編

#### 震災時の避難行動について

大規模な地震が起きた場合、火災の危険性がなくなった後に、自宅を失った方が学校避難所等へ避難します。  
自宅が無事なら、自宅で過ごします。そのために、日頃から食料や生活用品を備蓄が必要です。

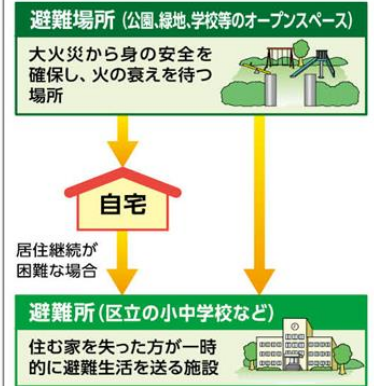
##### ①大地震発生直後の避難行動

大規模な延焼火災の危険がある場合は、一時（いつとき）集合場所を経て、集団で避難場所へ避難する。



##### ②火災などの危険がなくなった後の避難行動

大火災などの危険がなくなった後、住む家を失った方は、避難所で生活する。



（出典）大田区防災ハザードマップ 令和6年3月発行

#### 震災時の避難所について

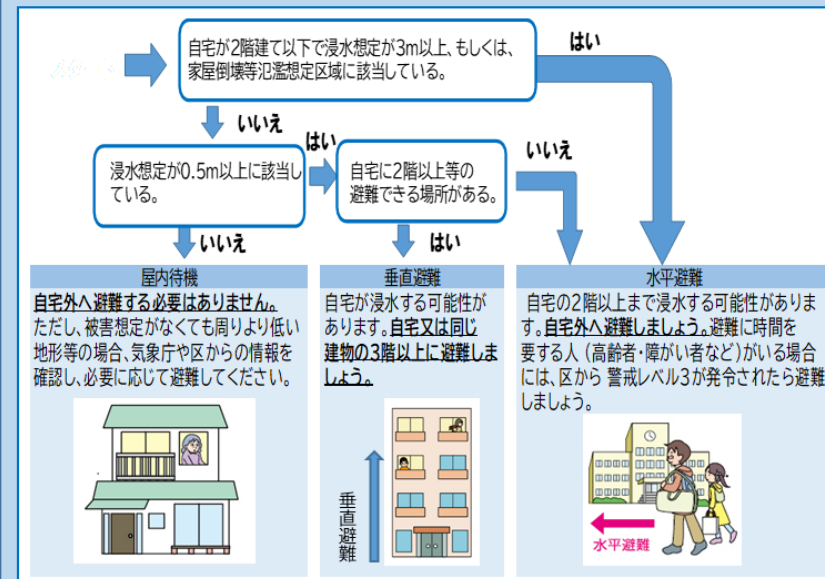
学校避難所の開設	震度5強以上の地震の発災後に、区が判断し、開設します。
福祉避難所の開設	学校避難所の開設後、福祉避難所の開設準備ができ次第、開設します。
福祉避難所の避難対象者	学校避難所へ避難をした人のうち、避難後に、対象者の方を区が指定します。

# 災害時の避難について 風水害編



## 風水害時の避難行動について

事前にハザードマップ等で自宅の浸水深等を確認し、水平避難が必要な方は、他に安全な避難先(親戚宅やホテル等)の確保します。自力で確保ができない場合、水害時緊急避難場所(学校避難所)へ避難します。自宅等が浸水等の危険性が低い場合、自宅で過ごします。そのために、日頃から食料や生活用品を備蓄が必要です。



(出典)大田区防災ハザードマップ 令和6年3月発行

## 風水害時の避難所について

学校避難所(水害時緊急避難場所)の開設	大田区に重大な被害が発生する恐れがある場合、区が事前に判断し、開設します。
福祉避難所の開設	水害時緊急避難場所と同時に開設します。
福祉避難所の避難対象者	区が作成支援した個別避難計画対象者のうち、あらかじめ区が指定します。